INFO-HIRO-21

第 484号 2019年 11月 1日 弘 前 大 学 総 務 部 総 務 広 報 課

イベントのお知らせ

World's Challenge Challenge 報告会・説明会 開催のお知らせ

このたび、カナダで行われたWorld's Challenge Challenge世界大会 出場者による報告会及び2020年開催に向けた説明会を下記のとおり開催 いたします。

どなたでも参加できますので、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

【日時】 2019年11月8日(金) 17:40 ~ 18:40

【場所】 総合教育棟2階 大会議室

【申込】 事前申し込みは不要です。

【問い合わせ先】

弘前大学国際連携本部 堀井

TEL: 0172-39-3109 E-mail: jm3109@hirosaki-u.ac.jp



弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター「農場祭」 のお知らせ

弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センターでは、地域の 皆様との結びつきを深めるために「農場祭」を開催します。どうぞお気 軽にご来場ください。

- 1. 日 時:2019年11月9日(土) 10:00 ~ 14:00
- 2. 会場:弘前大学金木農場 五所川原市金木町芦野84-133
- 3. 催し物
- ★農産物販売コーナー(10:00~)

金木農場と藤崎農場で丹精込めて作ったものです。ぜひ, お買い求めください。

- ○金木農場産・・・新米 (つがるロマン, てんたかく, 夕やけもち), 弘大アップルビーフ
- ○藤崎農場産・・・リンゴ(ふじ,こうこう),長ネギ等 (いずれも数に限りがございますので,売り切れの場合はご了承 ください)



★イベント

◆体験

- ・コメあじくらべ (11:00~) どのお米が1番おいしいかな? アンケートにお答えいただくと・・・お気に入りのお米1種類をプレゼント! ○豚肉試食 (終日)
 - ・(株)木村牧場との共同研究で生産された豚肉です。是非ご試食下さい。

◆研究展示 (終日)

・生物共生教育研究センターではどんな研究を行っているか, 日頃の研究をパネルにてご紹介します。

★出店販売コーナー (10:00~)

稲垣町「おかずや」

・弘大生協コーナー・・・金木農場産酒米を使用した日本酒「弘前大学」など

・お食事コーナー・・・そば, うどん, フランクフルトなど

問い合わせ先: 弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 金木農場

電 話: 0173-53-2029 F A X : 0173-52-5137

E-mail: jm532029@hirosaki-u.ac.jp

http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/kyousei/event.html

日本国際地域開発学会秋季大会 開催のお知らせ

日 時:2019年11月9日(土)10時00分~17時00分(懇親会17時30分~19時30分)

場 所:弘前大学農学生命科学部(文京町キャンパス)〒036-8561 青森県弘前市文京町3

受 付:農学生命科学部1階正面玄関 (9時30分開始) シンポジウム会場:農学生命科学部棟402講義室

個別報告会場:農学生命科学部棟330講義室, 331講義室, 402講義室

休憩室:農学生命科学部棟302講義室

スケジュール

○ 個別報告(報告15分,質疑応答5分)
 ○ 昼休み(昼食)
 ○ 常務理事会
 ○ シンポジウム打合せ
 ○ 学会賞授与式
 ○ シンポジウム
 ○ シンポジウム
 ○ ジンポジウム
 ○ ジンポジウム
 ○ ジンポジウム
 ○ シンポジウム
 ○ シンポジウム

シンポジウム共通テーマ

『日本産農林水産物・食品輸出の意義と展望-輸出額1兆円の実現可能性とその先に目指すもの -』

座長解題 石塚 哉史(弘前大学) 13時10分~13時20分 第1報告 石塚 哉史(弘前大学) 13時20分~14時00分

農産物輸出産地におけるマーケティング戦略に関する今日的展開と課題

- 野菜・畜産物の事例を中心に-

第2報告 神代 英昭 (宇都宮大学) 14時00分~14時40分

日本産加工食品輸出の効果と展望

- こんにゃくの分析を中心に-

第3報告 成田 拓未(弘前大学) 14時40分~15時20分

日本産りんご輸出先の多様な展開

- 消費地ニーズと産地対応-

休憩 (質問票記載も含む)

15時20分~15時30分

15時30分~15時45分

15時45分~16時00分

16時00分~16時15分

16時15分~16時20分

コメント

濱島 敦博(吉備国際大学)

佐藤 敦信(追手門学院大学) 矢野 佑樹(千葉大学)

会場準備(レイアウト移動)・小休憩

質疑および総合討論

16時20分~17時00分 座長総括 17時00分~17時10分

懇親会

17時30分~19時30分

弘前大学会館1階 弘前大学生活協同組合食堂 多目的ホール A

参加費等

○ 大会参加費:一般会員 2,000円, 学生会員 1,000円

○ 懇親会費: 一般会員 4,000円, 学生会員 2,000円

学内間い合わせ先

石塚 哉史(弘前大学農学生命科学部)

電話&FAX 0172-39-3827 e-mail s-ishi@hirosaki-u.ac.jp

第9回放射線リスクコミュニケーション教育部門講演会

「災害に遭遇すること-支援と受援を考える」開催のお知らせ

大学院保健学研究科では、本学が掲げる「放射線科学及び被ばく医 療における安心・安全を確保するための国際的な教育研究の推進」の 一環として「被ばく医療人材育成推進プロジェクト」を展開しており 、このたび標題の講演会を下記とおり開催する運びとなりました。

興味のある方はぜひお気軽にご参加ください。多数の皆さまのご参 加をお待ちしております。



記

【日 時】 令和元年 11月18日(月) 18:00~19:30

【会 場】 保健学研究科 F 棟 1 階 大学院講義室 1 (弘前市本町66-1)

【テーマ】 「災害に遭遇すること-支援と受援を考える」

【講師】 前田 正治 氏 (福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座 主任教授)

【対 象】 興味のある方どなたでも (申し込み不要)

【主 催】 弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会 放射線リスクコミュニケーション教育部門

【お問い合わせ】

弘前大学保健学研究科 総務グループ (担当:桑田)

TEL:: 0172-39-5518 (内線5518) E-mail: kuwata@hirosaki-u.ac.jp

令和元年度 弘前大学大学院保健学研究科 F D 講演会 開催のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科では、令和元年度 FD 講演会を下記のとおり開催いたします。事前の申し込みは不要ですので、参加を希望される方は、当日直接会場にお越しください。

多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時:2019年12月6日 (金) 18時00分~19時30分 2. 会 場:弘前大学医学部保健学科 第 33 講義室

3. 講演名:「ハゲタカオープンアクセス出版社にご用心」

4. 講師: 栗山正光先生

(首都大学東京学術情報基盤センター教授)

5. 参加費:無料

6. 問合せ:弘前大学大学院保健学研究科総務グループ

(電話0172-39-5905)



市民フォーラム2019「耐え難いほど正義に反する」袴田裁判を問い直す!

一袴田秀子さんを迎えて一(再掲)

袴田事件は、1966年に静岡県で発生した強盗殺人事件です。その犯人とされた袴田巌さんは無実を訴え続け、ついに、2014年3月、静岡地方裁判所が再審開始と死刑および拘置の執行停止の決定をしました。しかし、2018年6月に東京高等裁判所がこの決定を取り消して再審請求を棄却したため、現在も最高裁判所に特別抗告がなされ、裁判が続いています。

今回のフォーラムでは、その袴田巌さんのお姉さんである袴田秀子さん をお迎えしてお話を伺います。そして、専門家も交えて、冤罪や再審制度 などについて改めて考えてみたいと思います。興味のある方は、是非ご参 加ください。

1. 日 時: 2019年11月2日(土) 14:00~16:30

2. 場 所: 弘前市民会館1階大会議室

3. 対 象 : 本学教職員, 学生, 一般の方等どなたでも

※事前申し込みは不要です。

4. 参加費 : 500円 (当日券のみ)

5. 内容:

第1部 いま、袴田再審事件について語る

ゲスト: 袴田 秀子 (袴田巌死刑囚の姉)

山崎 俊樹 (袴田巌さんを救援する清水・静岡の会事務局長)

第2部 パネルディスカッション「市民生活と冤罪と…」

パネリスト:山崎 俊樹

福島 至 (龍谷大学法学部教授) 飯 考行 (専修大学法学部教授)

6. 主 催 : アムネスティ・インターナショナル日本 弘前グループ

共 催 : 日本国民救援会中弘支部



学内問い合わせ先 : 弘前大学人文社会科学部 平野 潔

電 話 : 0172-39-3199

E-mail : k-hirano@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学人文社会科学部 国際公開講座2019「日本を知り,世界を知る」

人文学で/人文学を探究する【文化の日は弘前大学へ行こう!】(再掲)

人文学の「今」一日本や世界の文化・歴史に関する最新の研究成果 一をわかりやすくお伝えします。今年度は「人文学で/人文学を探究 する」をテーマとして、弘前大学における多彩な「人文学」研究を、 4名の教員が紹介します。また、台湾の研究者をお招きして特別講演 も行います。世界各地の文化や歴史について、最新の研究成果に基づ き、地域の皆さまにわかりやすくお伝えします。

1. 日 時: 令和元年11月3日(日・祝「文化の日」)

10:00~16:30 (開場9:30)

2. 場 所: 弘前大学創立 50 周年記念会館 2 階

岩木ホール (弘前市文京町1番地)

3. 主 催: 弘前大学人文社会科学部

弘前大学人文社会科学部 地域未来創生センター

4. 対 象: 80名 (一般の方)

5. 参加料: 無料

6. 申込み: 事前申し込み不要・当日参加可能

(会場の定員になり次第、締め切らせていただきます。)

7. 問い合わせ先: 弘前大学人文社会科学部総務グループ(福士)

住所:青森県弘前市文京町1 電話:0172-39-3192

E-mail: jm3192@hirosaki-u.ac.jp

8. プログラム

10:00~10:10 開会の辞

講演1 10:10~11:00

講師 人文社会科学部 講師 畑中 杏美

講演2 11:10~12:00

講師 人文社会科学部 准教授 原 克昭

講演3 $13:00\sim13:50$

講師 人文社会科学部 准教授 上條 信彦

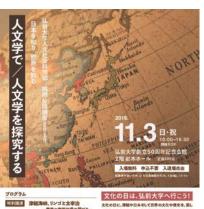
講演4 14:00~14:50

講師 人文社会科学部 教授 渡辺 麻里子

【特別講演】15:00~16:20

台湾大学文学部·副教授 張 文薫先生

16:20~16:30 閉会の辞





会 弘前大学 ^{我我和我我}

シンポジウム 青森県の裁判員裁判一これまでの10年間を振り返る」のお知らせ(再掲)

裁判員制度が施行されて10年が経ちました。本シンポジウムでは、法曹三者、市民(裁判員経験者)、研究者それぞれの目に裁判員裁判がどのように映っているのか、10年目を迎えた裁判員制度の成果と課題は何かを検証していきます。その上で、次の10年に向けて、裁判員制度をどのように育てていくべきかを参加者を交えて議論したいと思います。裁判員制度に興味のある方は、是非ご来場ください。

1. 日 時 : 2019年11月3日 (日・祝) 14:00~17:30

2. 場 所 : 弘前大学人文社会科学部棟4階 多目的ホール

3. 対 象 : 本学教職員, 学生, 一般の方等どなたでも (参加無料)

※事前申し込みは不要です。

4. 内容:

第1部 報告「裁判員裁判10年の成果と課題」

報告者:平野 潔(弘前大学人文社会科学部)

宮﨑秀一(北里大学教職課程) 飯 考行(専修大学法学部)

古玉正紀 (青森地方裁判所)

第2部 「裁判員経験者が感じた裁判員裁判」

登壇者:裁判員経験者

進 行:平野 潔(弘前大学人文社会科学部)

第3部 パネルディスカッション「市民・法曹の目から見た裁判員制度」

パネリスト:裁判員経験者

古玉正紀(青森地方裁判所) 吉武恵美子(青森地方検察庁) 竹本真紀(青森県弁護士会)

コーディネーター:飯 考行(専修大学法学部)

5. 主 催 : 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

弘前大学人文社会科学部

※ 裁判員を経験した方で、その経験を守秘義務に違反しない範囲で学生にお話いただける方を 募集しています。ご協力いただける方は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

問い合わせ先 : 弘前大学人文社会科学部 平野 潔

電 話: 0172-39-3199

E-mail: k-hirano@hirosaki-u.ac.jp

共用機器基盤センター 共焦点レーザー顕微鏡セミナーのお知らせ(再掲)

共用機器基盤センターでは、共焦点レーザー顕微鏡に関するセミナーを開催します。

本セミナーでは、バイオイメージング技術開発の第一人者である加藤薫氏(国立研究開発法人産業技術総合研究所バイオメディカル研究部・主任研究員)、オリンパス㈱ライフサイエンスマーケティング 細野和彦氏等を本学に招き、一般的な光学顕微鏡(偏光顕微鏡、微分干渉顕微鏡、位相差顕微鏡など)から、共用機器基盤センターに導入されている蛍光顕微鏡、共焦点顕微鏡について、さらに、最新の2光子顕微鏡、全反射顕微鏡、超解像顕微鏡など、その原理から応用技術まで



幅広く講演いただきます。

また、加藤氏が最近始めたAIやロボットと連携した顕微鏡観察の試みについても触れる予定となっておりますので、この機会にぜひご参加いただきますようお願いいたします。

1. 日 時 令和元年11月6日(水)13:00~15:50

2. 場 所 コラボ弘大 8F 八甲田ホールA・B

3. 演 題 「光学顕微鏡で生体試料をみる-基礎から応用まで-」

「対物レンズの基礎知識」

「共焦点レーザー顕微鏡の概要」

「光学顕微鏡でナノレベルの微細な構造をみる」

4. 講 師 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部

主任研究員 加藤 薫 氏

オリンパス㈱ライフサイエンスマーケティング

細野 和彦 氏,加藤 誠 氏

5. 対 象 教職員, 学生, 一般の方

6. 参 加 費 無料

7. 申 込 み 10月31日 (木) までに、①所属、②氏名、③役職、④電話番号を添えて下記

担当までお申込みください。

座席に余裕がある場合は, 当日参加も歓迎します。

8. 担 当 弘前大学研究推進部研究推進課 共用機器基盤センター担当

TEL: 0172-39-3913 E-mail: kiki@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院人文社会科学研究科 大学院・入試説明会のお知らせ

(令和2年度春季入学:一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜) (再掲)

日 時

令和元年11月8日(金) 18:00~19:10

会場

人文社会科学部校舎4階 多目的ホール

• 内 容

入試の説明のほか,研究科の概要説明,個別相談等を行います。 ~プログラム~

- 1. 新しい人文社会科学研究科について
- 2. 入学試験(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)について
- 3. 大学院生の声
- 4. 教員からのメッセージ
- 5. 院生室見学
- 6. 個別相談
- 対象者

人文社会科学研究科に興味のある方ならどなたでも参加可能です。 大学院を検討しているすべての学年の方,どうぞご参加ください。 ※事前の申込は不要です。

・間い合わせ先

弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当

TEL: 0172-39-3941 E-mail: jm3941@hirosaki-u.ac.jp



「放射線生物学・防護学セミナー」開催のお知らせ(再掲)

大学院保健学研究科では、この度、ストックホルム大学よりWojcik教授、 むつ総合病院より真里谷靖副院長のお二方をお招きし、放射線治療生物学及 び放射線防護学に関連する研究交流セミナーを開催いたします。

保健学研究科は、平成25年3月にストックホルム大学 放射線防護研究センターと部局間学術協力協定を締結してから、放射線教育・研究の両面で相互に情報共有や人的交流を継続して多くの成果を創出してまいりました。更なる活性化を目指し、多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

学生・研究員・教職員どなたでもお気軽にご参加ください。

記

【日時】 令和元年11月12日(火) 16:30~

【会場】 保健学研究科 大学院講義室1 (F棟1階)

【セミナータイトル】

- Yasushi Mariya, Vice-president (Mutsu general Hospital).
 "Outcome of combined external beam radiotherapy and Ra-223 radionuclide treatment for castration resistant prostate cancer with multiple bone metastases."
- 2. Andrzej Wojcik, Prof. (Centre for Radiation Protection Research, MBW, Stockholm University).

"Evidence for synergistic interaction of alpha particles and photons"

【共催】

- ・科研費事業(国際共同研究加速基金):17KK0181 代表者:門前暁 「がん骨転移放射線療法の新たな抗腫瘍効果・副作用マーカーの探索」
- ・生体応答科学研究センター
- ・被ばく医療人材育成推進委員会グローバル人材育成部門

【お問い合せ】

保健学研究科総務グループ・桑田

Tel: 0172-39-5518 (内線5518) E-mail: kuwata@hirosaki-u.ac.jp

「世界糖尿病デー in 弘前」のお知らせ(再掲)

11月14日は国連により公式認定されている「世界糖尿病デー」です。世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する様々なイベントが開催されています。我が国でも全国各地で観光施設や著名な建造物がブルーにライトアップされます。

弘前市では、「弘前城のブルーライトアップ」を行います。また、それに 先立ちまして11月9日にはホテルニューキャッスルにて「弘前公開糖尿病教 室」を行います。

どなたでもご参加いただけます。ぜひこの機会にご自身やご家族,大切な人と一緒に糖尿病について考えてみませんか?



世界糖尿病デー in 弘前〇

ブルーライトアップ 点灯:11月14日(木)17時頃 場所:弘前城

点灯後に写真撮影を行います。主催:弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科学講座

弘前公開糖尿病教室 11月 9日(土) 14:00~15:45 ホテルニューキャッスル弘前



いずれも 参加申込不要、参加費無料 どなたでもご参加いただけます。 糖尿病について一緒に考えて みませんか?

連絡先: 弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科 担当(佐藤) TEL:0172-39-5062 FAX:0172-39-5063 E-mail:eri-s@hirosaki-u.ac.jp

【日程】

◎2019年11月14日(木)17時~21時まで 世界糖尿病デー ブルーライトアップ

場所: 弘前城 (弘前市下白銀町3) 点灯: 2019年11月14日(木) 17時

写真撮影: 2019年11月14日(木) 点灯後

◎2019年11月9日 (土) 14:00~15:45

第24回 弘前公開糖尿病教室

場所:ホテルニューキャッスル弘前 (青森県弘前市上鞘師町24-1)

第13回弘大病院がん診療市民公開講座開催のお知らせ(再掲)

弘前大学医学部附属病院のがん診療を広く市民の皆様に知っていただく ことを目的に,公開講座を開催いたします。

膵臓がん、前立腺がんについて、専門家がそれぞれの立場から市民の皆様にわかりやすく講演いたします。講演後には質疑応答の時間を設けております。

1. 日 時:令和元年12月1日(日)13:00~15:30

2. 場 所: 弘前市民会館 大会議室(弘前市大字下白銀町1番地6)

3. 内 容: 演題1 すい臓がんの治療について

演題2 知って得する前立腺がんの話

4. 対 象:一般市民(定員100名)

5. 入 場 料 : 無料 6. 事前申込 : 不要

7. 問い合せ先 : 弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター TEL: 0172-39-5174(直通)

「令和元年度 情報処理学会東北支部研究会(弘前大学)」 開催案内(発表論文募集) (再掲)

研究会の開催および発表論文募集を併せてご案内します。多くの方々のご参加をお待ちしております。

日時: 2020年 2月 20日 (木) 9:00~17:30 (開催時間は予定)

会場: 弘前大学 総合教育棟3階309講義室

〒036-8561 青森県弘前市文京町1番地(文京地区キャンパス)

アクセス http://www.hirosaki-u.ac.jp/wp_access.html

主催: 情報処理学会東北支部

共催: 弘前大学理工学部電子情報工学科

発表申込方法: 申込締切日時まで,下記内容を申込先に電子メールにてお知らせください。

- (1) 発表題目
- (2) 著者氏名(所属)(登壇者名の前に○印)
- (3) 連絡先メールアドレス
- (4) その他(同一研究室での発表順等、何かありましたらご記入ください)

申込締切: 2020年2月6日 (木) 21:00まで





申込先:

ご氏名 岡崎功

ご住所 〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地

ご所属 弘前大学理工学研究科

電話番号 0172-39-3661

E-mail: ipsj-hiro@eit.hirosaki-u.ac.jp

備考:

(1) 発表時間は15分(発表12分,質疑応答3分)の予定です。

- (2) 発表申込みをされた方には、確認用の電子メールをお送りします。また、プログラム確定後に 開催番号、セッション番号等をご案内します。
- (3) 発表用機材としてプロジェクタを用意します。ノートパソコン等はご持参ください。
- (4) 開催日当日に発表論文(配布資料)を40部持参してください。様式は東北支部ホームページ http://www.topic.ad.jp/ipsj-tohoku/doku.php?id=paper から、Vo1、No付きのテンプレート(WEB 公開希望の有無でどちらかのテンプレートを選択)をご参照ください。Vo1、Noについては、別途ご案内しますが、Vo1.2019-開催番号 No.セッション-発表順 となります(例 Vo1.2019-9 No.A1-1)。

WEB公開希望の場合は、東北支部ホームページから著作権譲渡契約書をダウンロードし、ご記入の上、発表論文のpdfとともに2月末まで上記申込先までお送りください。発表論文のファイル名は 2019-開催番号-セッション-発表順.pdf、著作権譲渡契約書のファイル名は sigjouto-2019-開催番号-セッション-発表順.pdf としてください。

(5) 研究会終了後の懇親会は予定しておりませんのでご了承ください。

令和元年度弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター特別展

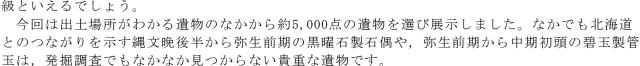
『石器大好き! – 寄贈記念 高橋啓一コレクション』展(再掲)

1. 主旨

昨年末にむつ市内にお住いの高橋啓一さんから、長年収集された考古資料を全て弘前大学に寄贈していただきました。遺跡の宝庫である青森県内にはまだ個人が所蔵している考古資料が眠っていますが、その多くが常に散逸の危機に瀕しています。こうした地域の宝を地元に残し、郷土の歴史や文化に関する教育・研究に役立てるのも、大学の果たすべき地域貢献の一つと考えます。

高橋さんのコレクションは、下北半島の遺跡で採集品にほぼ限定されるのが 特徴です。下北は津軽や南部に比べ開発が少ないことから、遺跡が発掘調査さ れる機会が少なく、北海道と本州とを結ぶ重要な地域でありながら、これまで 不明な点が多い地域でした。高橋さんのコレクションは、下北半島の縄文時代 や弥生時代の様相を知る上で、大変重要な資料です。

高橋さんのコレクションのもう一つの特徴が石器の数の多さです。石鏃だけでも1万点以上あります。おそらく石器の個人コレクションとしては日本最大級といえるでしょう。



石器は現在,本学の学生が卒業研究で整理・分析を進めており,今回の展示では,石器に使われた石材の時期的変化や地域的な違いなど,分析結果の一部もお示ししています。

- 2. 開催期間 2019年10月12日 (土) ~11月10日 (日) 10:00~16:00 ※期間中無休 ※入場無料
- 3. 主催 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター



4. 会場

弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター展示室 〒036-8560 青森県弘前市大字文京町1番地 弘前大学文京町キャンパス 総合教育棟2階

問い合わせ先 弘前大学人文社会科学部 北日本考古学研究センター 電話:0172-39-3190

弘前大学資料館第23回企画展について(再掲)

弘前大学資料館では第23回企画展として「弘前大学と昆虫学」を7月29日より11月2日まで開催いたします。

弘前大学では、これまで旧農学部、旧理学部時代から昆虫学の教育・研究が 盛んに行われ、多くの研究者、昆虫学関係者を輩出してきました。卒業生/修 了生は各方面で活躍し、日本の昆虫学の発展に力強く貢献しています。

また、弘前大学/青森県は豊かな自然に囲まれ、多くの昆虫とそのさまざまな暮らしを身近に見ることができます。ここでは、一歩、昆虫学の世界に踏み込むだけで、さまざまなテーマの研究に取り組むことができるのです。

弘前大学と昆虫学の関わりを振り返り、また青森の豊かな自然とそこにすむ 昆虫を知ることで、多くの方々に昆虫学に関心を持って頂きたいと思います。 みなさまのご来館をお待ちしております。

〇弘前大学資料館第23回企画展 「弘前大学と昆虫学」

会 期:2019年7月29 日(月)~2019年11月2日(土)

(日・祝・休日・8月13~15日は休館,10月27日は開館)

時 間:10:00~16:00 場 所:弘前大学資料館

本件問い合わせ先

· 弘前大学資料館 電話: 0172-39-3432 E-mail: jm3432@hirosaki-u.ac.jp

学内掲示板

弘前大学出版会から新刊のご案内

人文社会科学部 森樹男・髙島克史・大倉邦夫・熊田憲 編著「青森からはばたく!! じょっぱり起業家群像 I」(A5判,140頁,定価1,500円+税)を出版しました。

~紹介文~

青森県をこよなく愛し、青森県のモノ・コトにこだわり、青森県で創業することを通じて青森県の魅力を県内外に積極的に発信している起業家を本書では「じょっぱり起業家」と呼んでいます。

本書では5人のじょっぱり起業家の生の声がおさめられています。どのようなキャリアを経て起業に至ったのか、どのような苦難に直面し解決してきたのか、将来の青森県を担う若者へのメッセージなど本書を通じてじょっぱり起業家特有の思考に触れることができます。

本書は、起業を志す人だけでなく、青森県で公務員や会社員として働





く人や働こうと考えている人に読んでいただきたい。じょっぱり起業家的思考は青森県で働くあらゆる人にとって有意義と考えるからです。

ご興味をお持ちの方は大学生協または最寄りの書店でお買い求め下さい。

学生特別支援室相談会開催のお知らせ

学生特別支援室は,障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ,よりよい 学生生活が送れるよう支援しています。

昨年に引き続き、障害等のある学生(疑いを含む)への支援について教職員と話し合う、または、相談し合うための機会として、2019年度後期は以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生(疑いを含む)への支援に苦慮している,支援室スタッフに尋ねたいことがある,あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。

開催日: 2019年度後期

11月13日(水), 12月4日(水), 1月8日(水), 2月5日(水), 3月11日(水)

時 間: 14:30 ~ 15:30 (時間内の出入りは自由です。)

会 場: 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対 象: 本学の教職員

参加方法: 事前申込みは不要です。直接会場にお越しください。

参加スタッフ: 室長, コーディネーター, カウンセラー, 支援室員等

問い合わせ先: 教育推進機構学生特別支援室

内線: 3266 E-mail: g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24(1949)年5月に新制大学として発足して以来,平成31(2019)年に創立70周年を迎えました。

創立70周年に際して、国際化や男女共同参画の推進、学生支援の充実など、主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

ついては、多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが、創立70周年記念事業を成功させるため、更なるご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

なお、創立70周年記念事業のホームページでは、クレジットカードによる寄附も可能でございますので、ご活用いただければ幸いと存じます。

【創立70周年記念事業ホームページ】https://www.hirosaki-u.ac.jp/70th.html

○70周年のロゴマークを使用したパソコンの壁紙を作成しました。 右記URLからご覧いただけます。 https://www.hirosaki-u.ac.jp/36723.html

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組

みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第52号」では、「発見!国立大学」において、内閣府「日本オープンイノベーション大賞」を受賞した弘前大学COIの取り組みが紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号「国立大学第54号」

https://www.janu.jp/report/files/janu_vol54.pdf

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。 https://www.janu.jp/report/

その他, 第52号・第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において, 本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から:12月よりINFO-HIRO-21は毎月1日,月1回の発行といたします(12月は1日が日曜日のため2日に発行予定)。講演会,研究発表会,部局行事等の掲載原稿を発行予定日の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当:総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線:3029